

行政法研究Ⅰ

選択 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

国や地方公共団体は、国民(住民)の福祉の向上のために様々な活動を行っている。行政法とは、こうした国や地方公共団体の行政活動に関する法であり、数多くの法律が行政法を構成して、国民生活の基盤を形成するとともに、我々の日常生活に大きな影響を与えている。判例(事例)は、こうした行政法を理解する上で有益であるだけでなく、行政法の理論を検証し、それを発展させる上でも重要である。

そこで、行政法研究Ⅰでは、行政法総論を中心に判例(事例)を重視して授業(研究)を進めることとしたい。法律による行政の原理、行政行為、行政の実効性確保、非権力的な行政活動などの問題について、判例(事例)における論点等を整理・検討し、発表・討論を行うことにより、行政活動等における行政法の意義と役割に対する理解を深めることとしたい。

2. 授業の到達目標

- ①行政法総論に関する重要な判例(事例)について必要な知識を修得する。
- ②行政活動における行政法総論の意義と役割について理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

報告テーマの発表内容(約60%)のほか、討論への参加度など(約40%)を総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は用いない。

参考文献

宇賀克也ほか 行政判例百選Ⅰ〔第7版〕 有斐閣
曾和俊文ほか 現代行政法入門 第4版 有斐閣
原田大樹 判例で学ぶ法学 行政法 新世社

5. 準備学修の内容

各回の授業(研究)のテーマについて、報告者だけでなく、他の参加者も事前に勉強し、疑問点を明確にするとともに、問題意識を持って授業に参加することを期待している。

6. その他履修上の注意事項

報告者の発表を踏まえて、参加者全員で討議・検討を行うこととしており、授業に対する積極的な参加を期待する。また、適宜、教員による講義形式の授業も行う予定である。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(オンライン授業)
- 【第2回】 行政法総論のポイント(行政法の意義、行政組織など)について説明を行う。
- 【第3回】 行政法総論のポイント(法律による行政など)について説明を行う。
- 【第4回】 行政法総論のポイント(行政の実効性確保、非権力的な行政行為など)について説明を行う。
- 【第5回】 判例(事例)について発表し、討論を行う(1)。
- 【第6回】 判例(事例)について発表し、討論を行う(2)。
- 【第7回】 判例(事例)について発表し、討論を行う(3)。
- 【第8回】 判例(事例)について発表し、討論を行う(4)。
- 【第9回】 第2回から第8回までの授業のまとめと討論を行う。
- 【第10回】 行政法総論のポイント(行政行為など)について説明を行う。(オンライン授業)
- 【第11回】 判例(事例)について発表し、討論を行う(5)。
- 【第12回】 判例(事例)について発表し、討論を行う(6)。
- 【第13回】 判例(事例)について発表し、討論を行う(7)。
- 【第14回】 判例(事例)について発表し、討論を行う(8)。
- 【第15回】 第10回から第14回までの授業のまとめと討論を行う。